

地域ネットワークニュース

～平成29年1月の勉強会のお知らせ & 12月の勉強会報告～

第228回 地域ネットワーク勉強会

精神障害者の就労支援につながる日常生活支援

講師：障害者支援施設ほびき園 有澤英之氏
(精神保健福祉士 社会福祉士)

1月26日(木)

午後7時～午後9時

神栖市保健・福祉会館内
参加費無料

現在、障害者の就労支援事業所が増加傾向にあり、神栖市にも10を超える事業所があります。利用者も増えていますが、精神障害者が利用する場合、就労を焦るあまり生活リズムが崩れたり、精神的に不安定になったりしないよう、日常生活を安定するように支援することが大切です。

今回の勉強会では、精神障害者を主な対象に生活訓練、就労支援、生活の場を提供する入所施設やグループホームを展開する「ほびき園」の生活支援員、有澤英之さんを講師にお招きします。ほびき園は、生活の基本となる掃除や洗濯、調理といった家事と服薬管理、日中の過ごし方の訓練から、企業での就労までをサポートする事業所です。

その取り組み事例をもとに、①日常生活に必要な対人関係や家事などのスキルを身につけるための支援、②利用者が持っている強みを引き出す関わり方などについて、精神障害者の就労支援に結びつけてお話しいたします。

精神障害者と関わる機会の多い支援者や障害者のご家族など、多くの方のご参加をお待ちしています。



※当日は勉強会会場内に情報提供・紹介コーナーを設けています。福祉や医療に関する事業所のパンフレットやチラシ、研修会案内などありましたら是非ご持参下さい。ご参加頂く皆様からの情報をお待ちしています。

申込・問い合わせ先：神栖市社協 地域福祉推進センター 担当：三浦 電話 0299-93-0294



第227回 地域ネットワーク勉強会報告

平成28年12月3日開催

<参加者57名>

感覚統合の視点での行動理解と遊びのポイント

講師：茨城西南医療センター病院 根本浩則氏 (作業療法士)

今回の勉強会は子どもの行動を様々な感覚機能の働きから見直してみる機会として、①感覚統合とは、②感覚発達とコミュニケーションや遊びとの関連、③感覚発達を促す遊び、について講義頂きました。講義では実際の療育場面の映像を見ながら子どもの行動を理解する(分析する)ポイントについても説明があり、今、どこに支援が必要なのか、を見抜く力が支援者に求められていることを具体的に学ぶ事ができました。

どんな遊びも感覚を発達させる効果があります。ただし、発達障害があるなど発達が気になる子は新しい遊びや体験したことがないことに対してイメージ(見通し)がつきにくく、不安が強いことによって挑戦したくても挑戦できないことがあります。見本を見せたり、一緒に遊びを楽しんだり、さりげない配慮や工夫がとても大切です。